

テクノロジーに、ハートをこめて。

2018年3月期

(第42期)

第2四半期決算 補足説明資料

株式会社 フォーカスシステムズ

2017年11月



本資料は、2017年11月10日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2017年11月10日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

 Focus Systems

単位:百万円

	2017/3期	2018/3期	前期比	
	上期 実績	上期 実績	増減額	増減率
売上高	8,383	8,827	443	5.3%
公共関連事業	2,931	2,912	△18	0.6%
民間関連事業	4,897	5,439	541	11.1%
セキュリティ機器関連事業	554	475	△78	14.2%
営業利益	201	227	25	12.7%
経常利益	199	229	30	15.3%
純利益	138	183	44	32.3%

公共関連事業においては、前期より若干の減収となっておりますが、計画通り推移しております。

民間関連事業においては、主に日本IBM関連、ソフトバンク関連、沖関連の受注が伸び、過去最高の売上高を記録しました。

セキュリティ機器関連事業においては、前期より減収となっておりますが、これは前期に大型案件の受注があったことによるものです。



貸借対照表

単位:百万円

区分	2017/3期 第2四半期	2017/3期 期末	2018/3期 第2四半期
(資産の部)			
流動資産	8,203	7,881	8,572
固定資産	6,765	6,685	6,421
有形固定資産	3,478	3,525	3,520
無形固定資産	232	208	179
投資その他の資産	3,054	2,951	2,722
資産合計	14,969	14,567	14,993
(負債の部)			
流動負債	4,050	3,786	4,428
固定負債	3,998	3,521	3,375
負債合計	8,049	7,308	7,804
(純資産の部)			
資本金	2,905	2,905	2,905
資本剰余金	1,468	1,468	1,468
利益剰余金	1,656	2,069	2,079
自己株式	△706	△706	△706
評価・換算差額等	1,596	1,522	1,442
純資産合計	6,920	7,258	7,189
負債純資産合計	14,969	14,567	14,993

総資産は、前事業年度末と比較して、426百万円増加しました。
これは主に、投資有価証券の減少115百万円、保険積立金の減少112百万円、売掛金の減少56百万円があった一方で、現金及び預金の増加538百万円、仕掛品の増加185百万円によるものであります。



単位:百万円

区分	2016/3期 第2四半期	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期
売上高	7,494	8,383	8,827
売上原価	6,638	7,481	7,895
売上総利益	856	902	931
販売費及び一般管理費	654	700	704
営業利益	201	201	227
営業外収益	35	29	28
営業外費用	39	32	26
経常利益	197	199	229
特別利益	235	14	58
特別損失	1	—	8
税引前四半期純利益	432	213	279
法人税等	151	75	96
四半期純利益	280	138	183

売上高は、前年同四半期に比べ 443百万円増加しました。
これは主に民間関連事業の増加 541百万円によるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ、25百万円増加しました。
これは主に、売上高の増加443百万円に対し、販売費及び一般管理費の増加が3百万円に抑えられたことによるものです。

2018/3期の特別利益の増加は、主に保険解約金返金 55百万円によるものです。

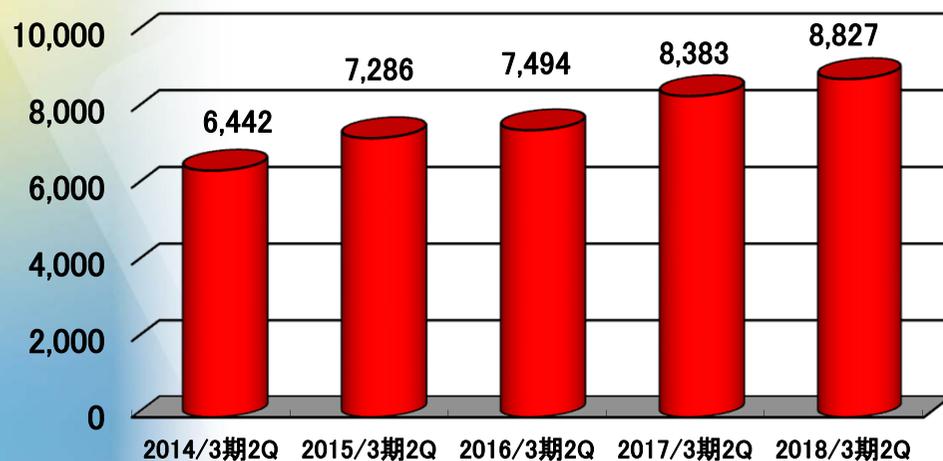
上記の結果、当第2四半期の純利益は183百万円となり、前年第2四半期に比べ44百万円の増加となりました。



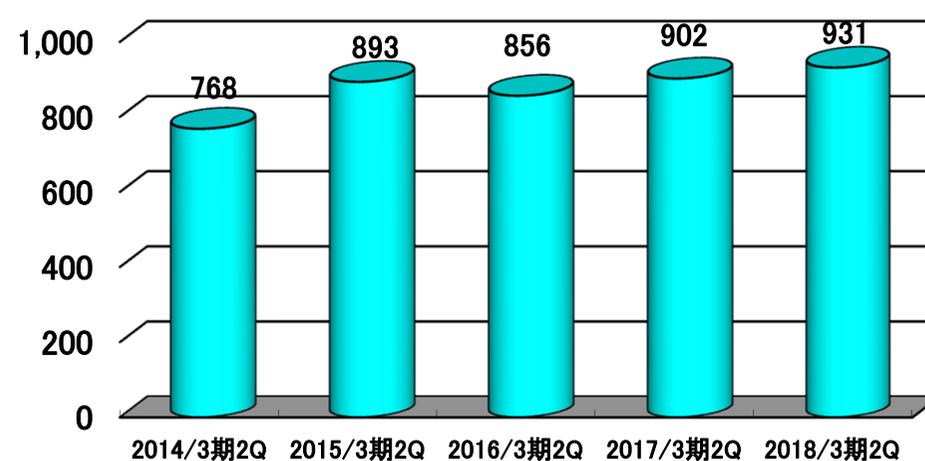
経営成績(直近5年)

単位:百万円

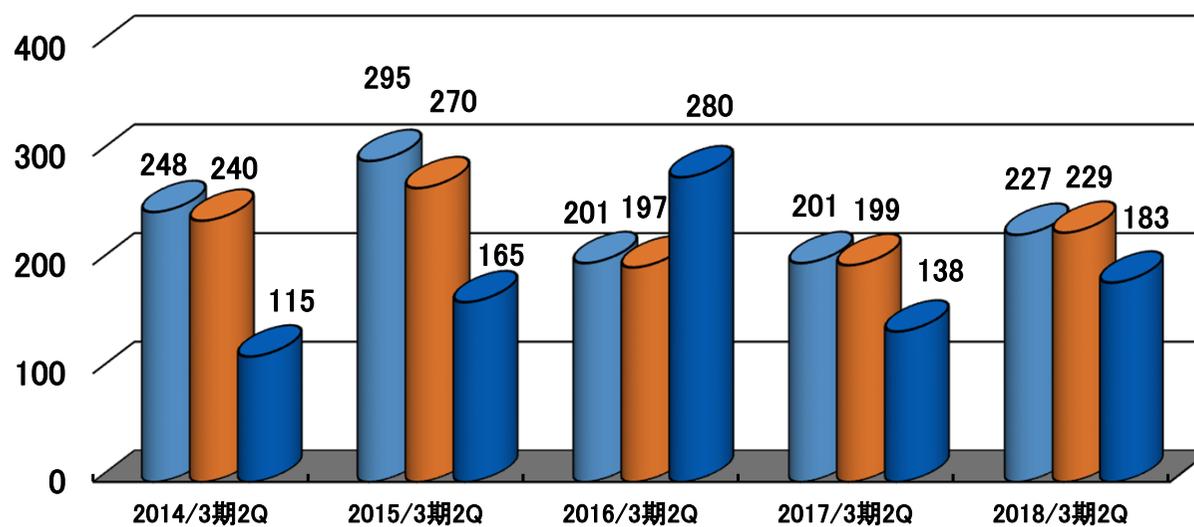
■売上高



■売上総利益



■営業利益 ■経常利益 ■四半期純利益



単位:百万円

区分	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	339	244
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△22	92
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	785	194
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,102	531
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,930	3,447
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,033	3,979

I 営業活動による キャッシュ・フロー

244百万円の収入がありました。
 主な内訳は、たな卸資産の増加額198百万円、役員退職慰労金の支払額120百万円があった一方で、税引前四半期純利益279百万円、賞与引当金の増加額156百万円、前受金の増加額119百万円等によるものであります。

II 投資活動による キャッシュ・フロー

92百万円の収入がありました。
 主な内訳は、有形固定資産の取得による支出69百万円、保険積立金の積立による支出31百万円があった一方で、保険積立金の解約による収入199百万円等によるものであります。

III 財務活動による キャッシュ・フロー

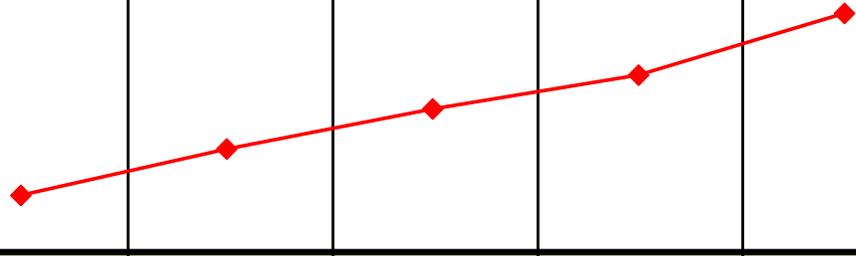
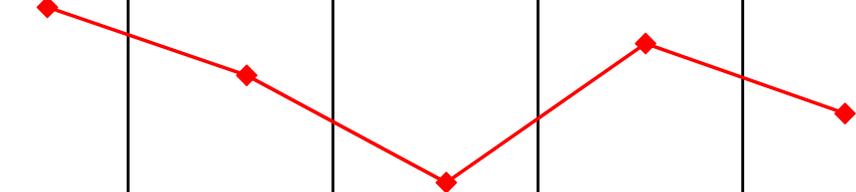
194百万円の収入がありました。
 主な内訳は、長期借入金の返済による支出384百万円、社債の償還による支出314百万円、配当金の支払額171百万円があった一方で、長期借入れによる収入400百万円、社債の発行による収入393百万円、短期借入金の純増額270百万円によるものであります。

VI 現金および現金同等物の期末残高

上記の結果、当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べ531百万円増加し、3,979百万円となりました。



単位:百万円

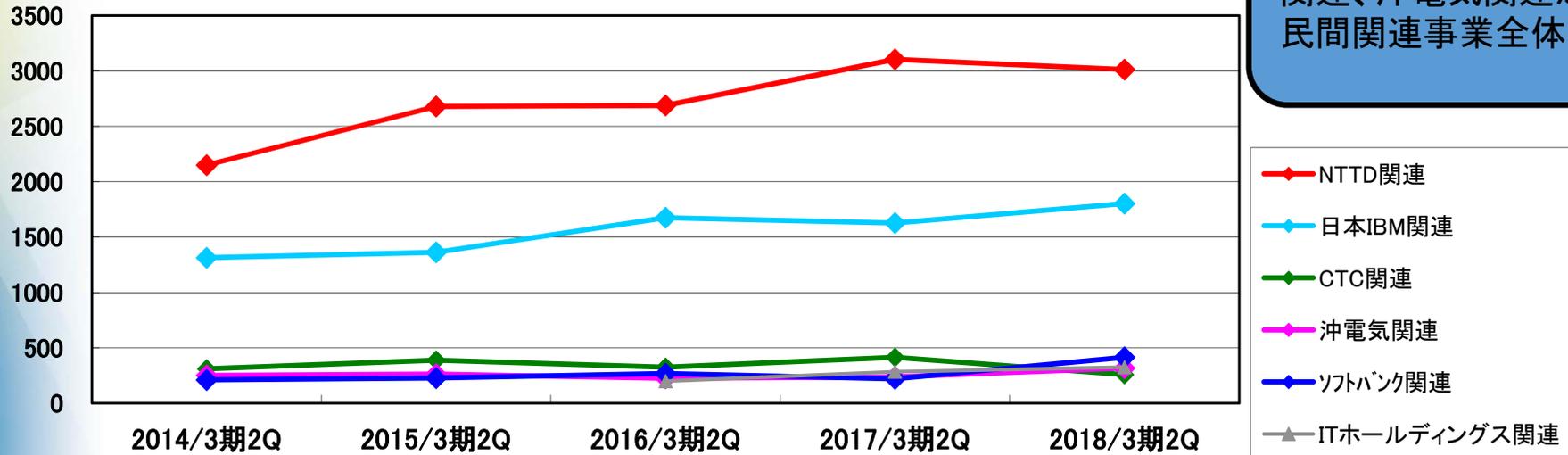
	売上高（各期第2四半期）					
	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	
公共関連	2,005	2,518	2,496	2,931	2,912	<p>前期より若干の減収となっておりますが、利益については外注比率が減少したことにより、前年同期比7百万円（1.8%）の増益となりました。</p>
						
民間関連	3,842	4,248	4,600	4,897	5,439	<p>主に日本IBM関連、ソフトバンク関連、沖関連の受注が伸び、過去最高の売上高を記録しました。利益については、前年同期比29百万円（6.6%）の増益となりました。</p>
						
セキュリティ機器関連	595	518	397	554	475	<p>前期より減収となっておりますが、これは前期に大型案件の受注があったことによるものです。利益についても前年同期比6百万円（12.5%）の減益となりました。</p>
						



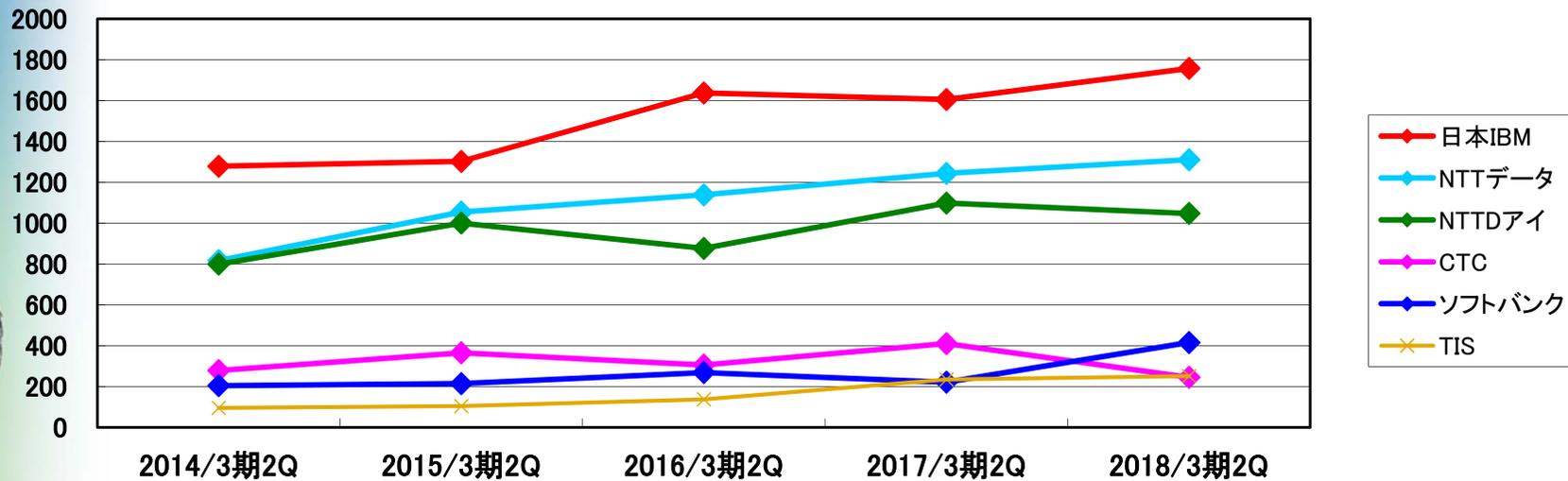
主要顧客別売上高推移

日本IBM関連、ソフトバンク関連、沖電気関連が伸び、民間関連事業全体は好調

顧客グループ別



主要顧客別



	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 年間配当金
通期予想	18,400	850	820	520	12円 50銭



ご 参 考

- 企業理念および企業集団の状況
- 決算データ推移
- 当期トピックス
- 当期製品トピックス



経営理念

「社員すべてが心と力を合わせ、企業の発展と成長を通じて、
未来のより良い環境作りに貢献する。」

経営ビジョン

私たちは、以下の3つの責任を果たしていきます。

1. 個人責任

人間性と技術力を磨き、最高のサービスをお客様に提供します。

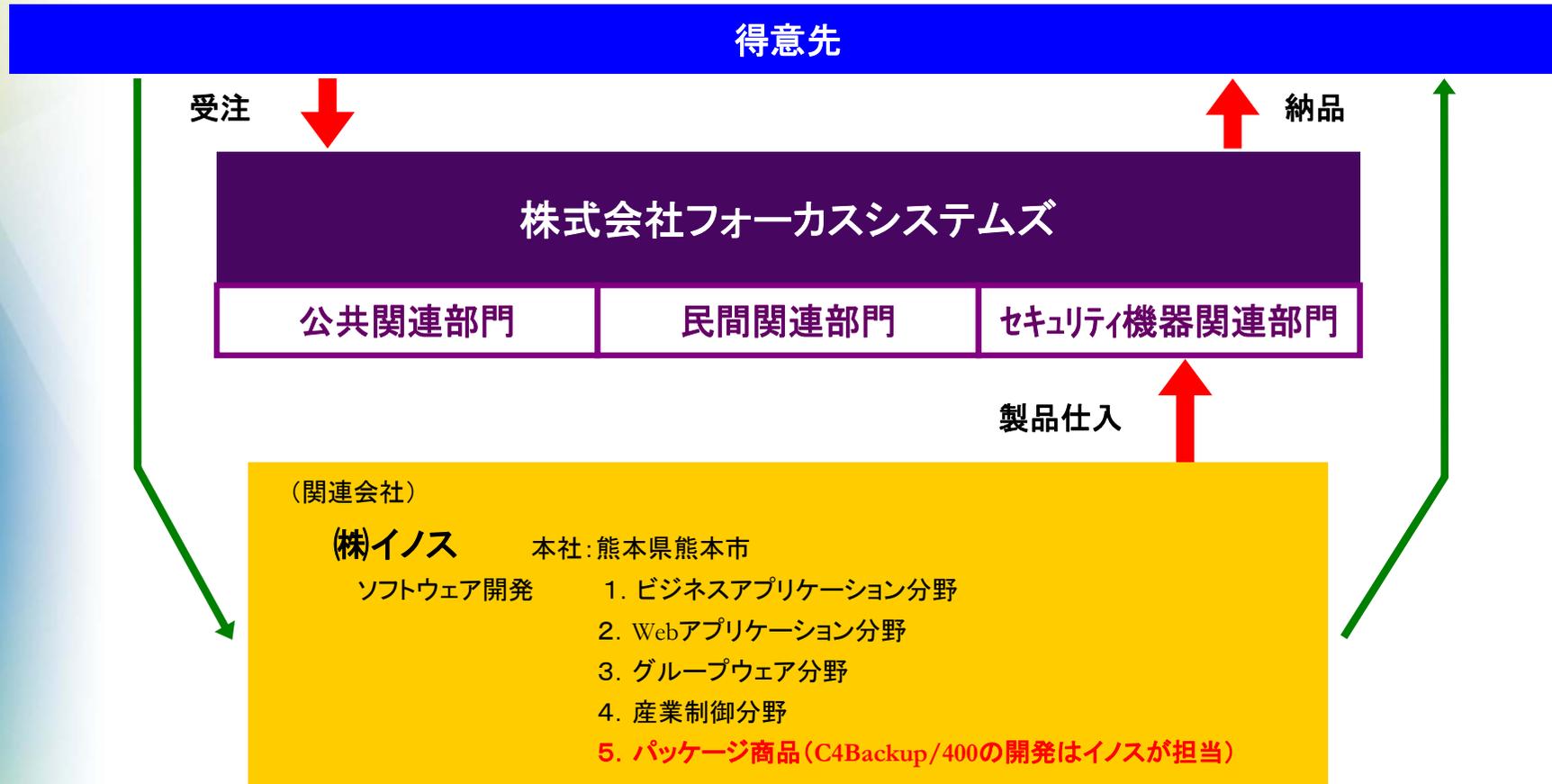
2. 企業責任

社員相互が信頼し合い、安心かつ働きがいのある会社を作ります。

3. 社会責任

お客様、投資家、株主様から信頼され、
社会から必要とされる会社を作ります。





関連会社の状況 (平成29年9月)

社名	持分 (%)	売上高 (千円)	経常利益 (千円)	純利益 (千円)
(株)イノス	20.0	482,414	42,605	23,617



第2四半期累計期間 決算データ推移

非連結 第2四半期	2012/9/30	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30	2017/9/30
決算年月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月
売上高(千円)	5,704,998	6,442,980	7,286,457	7,494,427	8,383,657	8,827,551
営業利益(千円)	△30,292	248,863	295,330	201,893	201,599	227,167
経常利益(千円)	△32,715	240,499	270,541	197,972	199,003	229,362
四半期純利益(千円)	△212,676	115,459	165,028	280,706	138,555	183,355
1株あたり四半期純利益(円)	△29.59	16.68	23.84	40.54	10.01	13.24
発行株式総数(株)	8,146,471	8,146,471	8,146,471	8,146,471	16,292,942	16,292,942
資本金(千円)	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422
純資産額(千円)	4,827,827	4,779,151	6,009,495	6,355,657	6,920,239	7,189,370
総資産額(千円)	11,374,909	10,977,520	13,566,857	14,048,313	14,969,602	14,993,842
自己資本比率(%)	42.4%	43.5%	44.3%	45.2%	46.2%	47.9%
営業活動によるキャッシュフロー(千円)	△1,299,726	300,713	213,226	182,453	339,415	244,932
投資活動によるキャッシュフロー(千円)	863,407	△48,877	△145,357	331,104	△22,378	92,687
財務活動によるキャッシュフロー(千円)	237,741	△323,577	281,017	398,262	785,704	194,290
現金及び現金同等物の四半期末残高(千円)	2,286,015	2,323,759	3,259,384	4,018,528	4,033,313	3,979,058
従業員数(人)	911	941	983	1,035	1,077	1,130

注1. 平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため株式数が増加しております。
1株あたり四半期純利益につきましては、平成29年3月期以降、株式分割後の数値で表記しております。



非連結通期	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31
決算年月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
売上高(千円)	11,909,800	12,353,938	14,146,242	15,081,738	16,482,792	17,846,896
営業利益(千円)	△47,127	439,240	887,789	940,310	953,356	743,538
経常利益(千円)	△58,532	416,311	849,751	897,205	950,301	731,331
当期純利益(千円)	151,563	241,130	455,647	592,742	738,841	551,571
自己資本当期純利益率(%)	2.7	4.4	9.2	10.0	10.4	7.5
総資産経常利益率(%)	△0.5	3.4	7.4	6.9	6.5	5.0
売上高営業利益率(%)	△0.4	3.6	6.3	6.2	5.8	4.2
資本金(千円)	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422
純資産額(千円)	6,047,149	4,868,962	5,029,600	6,769,094	7,415,953	7,258,918
総資産額(千円)	13,208,330	11,195,332	11,837,231	14,340,827	14,936,873	14,567,320
自己資本比率(%)	45.8	43.5	42.5	47.2	49.6	49.8
1株当たり純資産(円)	821.40	703.26	726.46	977.72	535.58	524.24
従業員数(人)	882	899	941	962	1,024	1,073

注1. 平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため株式数が増加しております。
1株当たり純資産につきましては、平成28年3月期以降、株式分割後の数値で表記しております。



非連結通期	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31
決算年月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
営業活動によるキャッシュフロー(千円)	314,081	△1,020,472	667,012	567,492	42,645	490,169
投資活動によるキャッシュフロー(千円)	442,707	875,377	△119,320	△334,656	293,705	△62,346
財務活動によるキャッシュフロー(千円)	65,699	56,002	△32,694	△36,627	△512,485	88,752
現金及び現金同等物の期末残高(千円)	2,484,592	2,395,500	2,910,498	3,106,707	2,930,572	3,447,147
発行株式総数(株)	8,146,471	8,146,471	8,146,471	8,146,471	16,292,942	16,292,942
1株当たり当期純利益(円)	19.52	34.03	65.81	85.61	53.36	39.83
1株当たり配当(円)	10.00	15.00	20.00	25.00	16.00	12.50
配当性向(%)	51.2	44.1	30.4	29.2	30.0	31.4
純資産配当率(%)	1.3	1.9	2.8	2.9	3.1	2.4
株価 年度高値(円)	659	679	858	1,210	888	634
株価 年度安値(円)	418	552	442	540	340	412

注1. 平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため株式数が増加しております。

発行株式総数、1株当たり当期純利益、1株当たり配当、株価(年度高値、年度安値)につきましては、平成28年3月期以降、株式分割後の数値で表記しております。



2017年6月1日

サイバー犯罪の証拠データ分析の高速処理化に向け、 フォーカスシステムズと日本マイクロソフトが連携

株式会社フォーカスシステムズ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:森啓一、以下フォーカスシステムズ)と日本マイクロソフト株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:平野拓也、以下日本マイクロソフト)は、サイバー犯罪の証拠データの分析及び鑑識(サイバーフォレンジック)の高速処理化に向けて連携します。本連携により、マイクロソフトのクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure(以下Azure)」を活用した警察機関向け証拠データの高速処理化を実現するソリューション「サイフォクラウド」を本日より提供開始します。

サイバー犯罪の証拠データの分析及び鑑識作業の分野においては、PCやスマートフォンなど、様々なデバイスの解析作業のために事前のデータ処理作業(データカービングやインデックス、圧縮ファイルの展開、ハッシュ計算等)が必要となります。現状では、そのデータ処理に膨大な時間が必要で、平均して約3日の作業時間が掛かることが、サイバー犯罪捜査の検挙への大きな課題となっています。さらには、データの大容量化、解析対象となるデバイス自体の増加など、今後ますます証拠データの分析及び鑑識作業のニーズは増す一方で、事案に対する時間的な制約や、人的、物的なリソース不足も発生しています。

このような状況の中、分散処理技術やパスワード解析技術をはじめとしたフォーカスシステムズのサイバーフォレンジックソリューションと、マイクロソフトのクラウドプラットフォーム Azure を連携させる実証試験を実施しました。実証試験の結果により、従来の分析時間を3日から半日に短縮(※)する結果となりました。1日以内の分析を実現することにより、サイバー犯罪の検挙へ大きく貢献できるソリューション「サイフォクラウド」が誕生しました。

以上



2017年6月26日

危険察知からエンターテイメントまで適用可能なAR(拡張現実)グラス

～ビーコンFCS1301とARグラスを統合したARシステムの提供を開始～

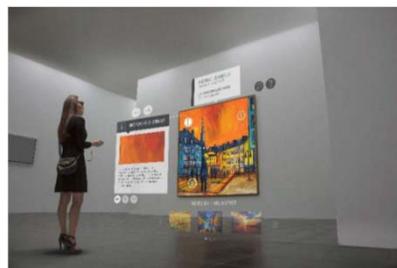
株式会社フォーカスシステムズ(東京都品川区、代表取締役社長:森啓一)は、ARグラスと薄型BluetoothセンサーデバイスのビーコンFCS1301(以下、FCS1301)を連携したARシステムの提供を開始しました。

当社のARシステムは、ARグラスを装着し、FCS1301の半径約2~3mに近づくことにより、ARグラスの内蔵センサーがFCS1301の発信する電波をキャッチし、ARグラスに格納された動画を再生します。

動画の内容を変更することで、危険察知からエンターテイメントまで、幅広い用途での利用が可能です。尚、ARグラスは、当社と2015年より連携し検証を重ねてきたセイコーエプソン株式会社様のMOVERIOBT-300/BT-350を利用することで、安定した利用環境を提供します。

◆利用シーン

- ①工事現場など危険なエリアで従事する方の安全確保に(下記の利用例をご参照ください。)
- ②組立工場等で設計書や手順書を自動で表示し、作業の円滑化に
- ③各種イベントにおいてスタンプラリーや宝探しなどのエンターテイメントに
- ④美術館や博物館などでの展示物の説明に
- ⑤外国人観光客に向けた観光案内に



(※)イメージはエプソン販売株式会社様より提供



フォーカスシステムズ公式ホームページリニューアルオープン

現在のホームページが2013年に公開され4年が経過し、ホームページを全面リニューアルすることとなりました。
新しいホームページは、コーポレートスローガンである『テクノロジーに、ハートを込めて。』をイメージした明るくポップなデザインとし、IT企業に対するクールで、難しいイメージを払拭し、当社ホームページを訪れて頂く方に親しみやすい印象を持って頂くデザインとしました。
新しいホームページの公開日は、11月27日です。



以上

今後とも、ご指導ご支援のほど
お願い申し上げます。

